

# 保冷宅配便サービスの国際標準化と今後の方向性

---

国土交通省 総合政策局  
国際物流課

## ～オールジャパンで取り組む「物流生産性革命」の推進～

### 【現状・背景】

- サプライチェーンのグローバル化が進む中、アジア等の新興国では高品質なコールドチェーン等が構築されていない国が存在。
- 我が国物流システムを国際標準化し、新たな市場を確立することで、それらの市場において我が国の質の高い物流サービスの差別化を図り、我が国の物流サービスの競争優位を創出することが期待される。併せて、海外でも我が国と同じような物流サービス環境が創出されることで、我が国の企業等の海外展開の促進が見込まれる。

### 【国土交通省の取組】

- 国土交通省では、関係省庁や物流事業者等のオールジャパンの体制を整備し、我が国物流システムの国際標準化に向けたアクションを検討するとともに、各国政府との政策対話での働きかけや物流パイロット事業での実証を通じて、コールドチェーン等の我が国物流システムの国際標準化を推進する。

## 物流システムの国際標準化による生産性向上

アジア等の新興国では、高品質なコールドチェーン等が構築されていない国が存在。国・地域によっては物流事業者間で過当競争が起きる恐れがあるほか、我が国の企業等の海外展開にとって障害となる可能性もある。

- ✓ 物流サービスの要求水準等を標準化し、普及することにより、我が国の物流事業者が提供する高品質なサービスの差別化が図れる環境を構築

我が国物流システムの国際標準化

我が国の生産者・企業  
への付加価値

我が国の物流サービス  
への付加価値

我が国の産業の海外展開の促進

- ✓ 我が国の企業等の海外展開に資する物流インフラの構築
- ✓ 温度や鮮度の管理が重要な我が国産業の競争優位の創出



我が国の物流業の競争優位創出

- ✓ 過当競争を 방지、B to Cの高品質なクール宅配便サービス等、我が国の物流事業者の競争優位を生かしたサービス展開を支援



## 国土交通省の取組

### ■ 国際標準化の推進に向けたオールジャパンの体制整備

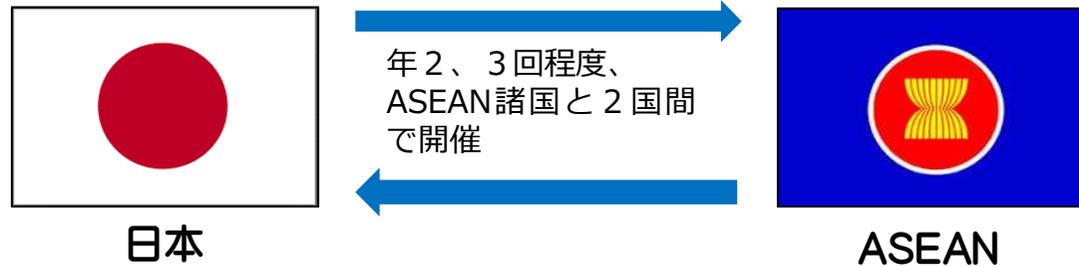
- ✓ 平成28年3月より「我が国物流システムの国際標準化の推進等に関する連絡検討会」を開催し、我が国物流システムの国際標準化に向けたアクションを検討する。  
→ 同連絡検討会において、平成29年以降早期にクール宅配便サービスの国際標準化を目指す。

### ■ 政府間対話・物流パイロット事業を通じた標準の普及

- ✓ ASEAN諸国との政府間対話を通じ、物流に関する制度の改善や新たなサービス導入を働きかける。  
例) 日・マレーシア物流政策対話（平成28年2月）で我が国クール宅配便サービスを紹介し、国際標準導入の重要性を働きかけ。
- ✓ 新興国でのパイロット事業を通じ、策定した標準に基づく、我が国物流事業者のビジネスモデルの確立に向けた課題等の解決を図る。

- 国土交通省では、物流の課題に対する相互理解やサービス導入のプロモーション等を目的として、日本とASEAN各国との2国間による政府間対話及びワークショップを毎年開催。平成29年1月に開催された日タイ物流政策対話及びワークショップでは、ヤマトホールディングス（株）よりクール宅配便サービスに関する取組とPAS規格について説明を行い、相手国に対してクール宅配便サービスのPAS規格の普及に向けた働きかけを実施。

## 日ASEAN物流政策対話及びワークショップ



### 【開催目的】

- 政府レベルでの政策対話等を実施し、相手国・地域における物流に関する制度の改善や、我が国物流サービス導入に関するプロモーション等、[我が国物流システムの海外展開の環境整備](#)を図る。

### 【各回の主な議題】

- 両国の物流政策の現況及び課題
- 物流パイロット事業の結果報告（及び協力要請）
- 物流人材育成支援事業について
- その他特別に紹介、働きかけ等を実施すべき事項

### 【直近の開催実績】

- 平成28年度 ミャンマー（10月）、[タイ（1月）](#)
- 平成27年度 ラオス、カンボジア、マレーシア
- 平成26年度 ベトナム、ミャンマー
- 平成25年度 タイ、インドネシア

## 日タイ物流政策対話及びワークショップ

- 日時 平成29年1月26日（木）
- 場所 タイ（バンコク）
- 出席者
  - 【日本側】国土交通省総合政策局国際物流課長 他
  - 【タイ側】運輸省国際協力局課長 他（合計74名）

→ ワークショップにおいて、両国のコールドチェーン物流に関する取組について、情報交換等を実施。クール宅配便サービスについては、日本側のヤマトホールディングス（株）より、同社の提供する[クール宅配便サービスの概要](#)と現在策定に向けて取り組んでいる[PAS規格](#)について、タイ側に説明を行った。

→ ワークショップを経て、今後のタイにおける[コールドチェーン物流の重要性](#)、並びに同サービスを提供する[物流事業者のサービス水準の向上](#)に向けて取り組むことを確認した。

